

# CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	泉州看護専門学校	階数	地上4階
建設地	大阪府堺市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分		年間使用時間	0時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年9月28日
敷地面積	1,998 m <sup>2</sup>	作成者	澤 徳広
建築面積	856 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,529 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 快適で効率的な建築運用を実現するために断熱性能に優れた屋根・外壁材料を選択し、省エネルギーに配慮した建物とした。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 学生のアメニティの向上に配慮し、教室において窓を大きく設け、太陽の光が入る空間を設けた。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を、1階は3.85m、2階は3.85m、3階は4.15m、4階は4.65m確保しゆとりのある計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 西側の街区公園と連続するように植栽を配し、緑豊かな屋外空間とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率型照明器具(LED照明の採用)、WC照明の人のセンサー点滅の採用等、設備の省エネルギー化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地北側が静かな住宅地であることから、建物位置をできる限り北側から遠ざけ、目隠しフェンス等で設備機器を隠し、住宅地になじみやすい建物ボリュームとした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	泉州看護専門学校	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区老松町二丁目58-1、2、3、4、5、8、59-3	0.8	B-
	主用途/延床面積	学校 / 2,529.14 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	3	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	2.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	2.2		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	1.0		
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	2	
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0		
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	1.0		
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	3.0		

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	